



2023年度 新型コロナウイルス感染対策分野 研究集会

新型コロナウイルス（COVID-19）感染対策に関する風工学研究拠点の共同研究課題として、今年度は、「呼吸器エアロゾル粒子への曝露様式に基づいた曝露量および対策効果の評価」尾方 壮行（東京都立大学）が行われました。

本研究集会では、上記の研究課題に関する今年度の研究成果を発表致します。換気や気流などによる新型コロナウイルス感染防止対策について関心のある方に多数参加していただければ幸いです。

と き： 2024年3月5日（火）13:30～14:30

ところ： オンライン開催（Zoom）

問合先： 東京工芸大学 風工学研究拠点事務局

電話:046-242-9658 E-mail : jurc_office@arch.t-kougei.ac.jp

参加費： 無料

申込方法： Zoom 参加アドレス

<https://us02web.zoom.us/j/85820559800?pwd=UEloNUx1dW15K01BVVNiNER1N2ZRZz09>

ミーティング ID: 858 2055 9800

パスコード: 721866

プログラム（案）

13:30 - 13:35 開会挨拶

13:35 - 13:55 「模擬呼吸器エアロゾル発生装置の開発及び同装置を用いた曝露量の評価」
津田真梨乃（東京都立大学 一ノ瀬研究室）

13:55 - 14:15 「エアロゾル感染および換気等による対策に関する議論の動向」
尾方 壮行（東京都立大学 助教）

14:15 - 14:35 「PIV 解析による扉の開閉時のエアロゾル漏出量の評価」
山本 佳嗣（東京工芸大学 准教授）

14:35 - 14:40 閉会挨拶